

▼わらで作成した筆で書道に取り組む児童



秦荘西小学校「わら筆」づくり

10月18日、秦荘西小学校の5年生が、地域ボランティアの方に教わりながら、自分たちで収穫し、脱穀を行った稲わらを使って、「わら筆」を作成しました。

この取組を通して、お米を収穫して食べるだけでなく、先人による稲わらの有効活用についても学び、SDGsへの理解も深めました。

児童たちは、わら筆を使った習字に取り組み、書道用の筆では出せない、特有の味のある作品を作りながら「わらで習字の筆ができてびっくりした」「わら筆は書きにくいけど、普通の筆と違っておもしろい」と話していました。



▼大きなさつまいもを手に笑顔の園児



町内保育園 さつまいも収穫体験

10月24日、東びわこ農協愛知川支店南側ほ場で愛荘町農遊倶楽部会員の皆さんに協力いただきながら、町内の6つの保育園に通う園児たちがさつまいも収穫体験をしました。

園児たちは、春に植えたさつまいもを、愛荘町農遊倶楽部会員の皆さんに、掘り起こすのを手伝ってもらいながら、友だちとも協力してたくさん掘り起こしていました。

畑では、「よいしょ！よいしょ！」の掛け声があちこちで聞こえ、園児たちは一生懸命引っ張り、土の中からさつまいもが出てくる面白さを味わっていました。



▼入賞した愛知川剣心会の剣士たち



川上村第21回剣道交流大会 入賞

10月22日、川上村立武道場（奈良県川上村）で行われた川上村第21回剣道交流大会で、愛知川剣心会の剣士たちが入賞しました。



小学5・6年男子の部	優勝	森 朱生
一般男子初段以下の部	2位	奥西 浩
中学2・3年女子の部	3位	武立 唯桜
少年団体の部(2年生以下)	2位	武立 真拓、福岡 心翔、安田 一伸

▼園児へマラカスの振り方を教える児童



秦荘西小学校 1年生と園児との交流会

10月25日、秦荘西小学校で、1年生の児童と来年度入学する園児たちとの交流会が行われました。

児童たちは、「秋のお店屋さんをしよう」という学習で、秋の木の実など自然のものを使ったお店づくりに取り組み、この交流会で自分たちが作ったお店に園児たちをお客さんとして招待しました。



マラカス店では、1年生がマラカスを作ったり、手作りマラカスの振り方を園児に優しく教えたりしていました。

1年生の児童たちは、お店を楽しんでいる園児たちの顔に嬉しそうな様子でした。

▼寄附を贈呈いただいた柿田社長（写真左）



寄附金をいただきました

10月25日、愛知電機工業株式会社から小学校へ寄附金を贈呈いただきました。

愛知電機工業株式会社は、愛知川を拠点に電気や給排水設備の工事などを手掛けられている事業者で、令和4年にも町内幼稚園に対し寄附を贈呈いただいた経緯があります。

同社の柿田 新吾社長は「小学校の発展に少しでも役立ててほしい」と話され、徳田教育長に寄附金を手渡していただきました。

寄附金は、子どもたちが豊かな学校生活を送るために活用させていただきます。

▼動画作成について説明する黄瀬さん



県立愛知高等学校 起業家精神を学ぶ

10月25日、県立愛知高等学校で、役場と地域おこし協力隊による町の紹介と動画作成の授業を行いました。

県立愛知高等学校では、何も無いところから事業を立ち上げる人を意味する「アントレプレナーシップ（起業家精神）」を学ぶため、愛荘町に関するオリジナルPR動画の作成に取り組みます。

今回は、授業の第1回目として、役場と地域おこし協力隊の黄瀬 尚大さんが講師として、生徒の皆さんに町の魅力と動画作成のコツを説明しました。

これから生徒の皆さんは、各々自分たちでテーマを考え、動画の作成に取り組み、最優秀作品を決定されます。

▼ハロウィンをテーマにした花のアレンジメント



秦荘西小学校 みらいにたねをまこう

10月25日、秦荘西小学校の昇降口へハロウィンをテーマにした花のアレンジメントが届きました。

この取組は、滋賀県生花商協会による「みらいにたねをまこう!! 10年計画事業」の一環として、年に一度県内の42学校施設を対象に花を届けられるものです。

今回花を届けていただいた「フラワーハウスはなすえ」さんは「ハロウィンに合わせたアレンジメントを作りました。所々に小さなおぼけを入れるなど、遊び心も入れてみました。子どもたちに喜んでもらえると思います」と話されました。



▼多くの作品の中から自分の作品を探す子どもたち



愛荘町民文化祭「こども展示」

10月28日～29日の2日間、愛知川武道館で、こどもたちが主役の文化祭「こども展示」を開催しました。

この文化祭では、町内の保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校などから絵画作品や書写作品、立体作品などを展示し、町内外から総勢2,307人が鑑賞に來られました。

また、来場された子どもたちの家族は、子どもたち自慢の作品の数々を通して日頃の成長を感じ、感激されていました。

